

レイカディア大学 サポートの会広報誌

シニアの学び舎

レイカディア大学だより 草津キャンパス

No.60

2026.2.25

シニアが新しい教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援しています



♪春の足音♪



2025年春のびわ湖マラソンの写真です。目的地までの力強い一歩一歩が、早春の琵琶湖路を駆け抜けます。あなたも、ご自身の目的地に向けて、一歩を踏み出してみませんか。

(写真提供: K.H. 広報情報部会)

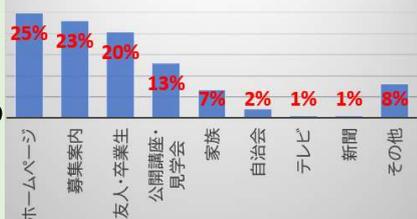
47期 入学生のアンケート結果

昨年も新入学の皆さんの協力を得て、入学時アンケートを実施しました。150人中137人の回答で、回収率は約91%でした。貴重なデータは、48期生の学生募集活動に活かして参ります。アンケート結果から見える特徴は以下のとおりです。

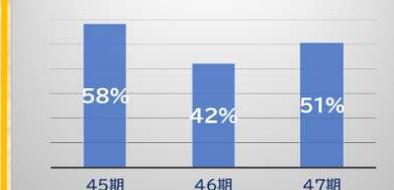
1. 男女構成比は、女性が45%（前年は49%）で、男女ほぼ均衡しています。健康づくり学科では女性が約8割を占める一方、地域文化学科では約2割に留まっているなど、男女比は学科によって大きな差が見られます。なお、参考に学生の居住している住まいについても調査しました。居住地は大津市が半数、続いて草津市、守山市、甲賀市、野洲市などとなっています。➤

2. 「入学のきっかけ」は、「ホームページ」、「募集案内」、「友人・卒業生からの誘い」等が上位を占めています。今後もチラシ配布、ホームページの充実、口コミ勧誘に力を入れる必要があると思います。

47期入学のきっかけ



公開講座・学科見学会の参加率 (45～47期)

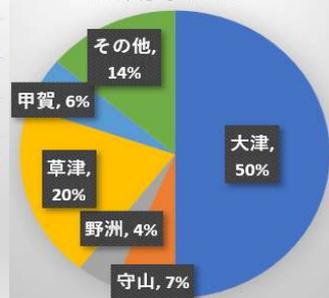


3. 公開講座・学科見学会の参加率は51%（前年42%）で前年より増加しています。時期や頻度を検討しつつ、公開講座や学科見学会を積極的にやりたいと思います。

47期男女別構成比



47期 住まい



学生募集は、レイカディア大学サポートの会にとって重要な活動の一つです。今後も事務局、在学生、同窓会などと協力して募集活動に取り組んで参ります。併せて、今年は企業の退職セミナー等にも参加し、募集活動の幅を広げたいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

サポートの会 学生募集プロジェクト 佐川 文明、大橋 知典

46期園芸学科Aは、男女各11名、22名の“ワンチーム”です。1年が過ぎ、お互いに個性もわかり始めてきました。全員が明るく、責任感と実行力をもって失敗を力に変えながら、クラス運営と、交流・広報・大学祭・課題学習の各部会に取り組んでいます。田畑のある人、自宅の庭がある人、ベランダ園芸をしている人と様々ですが、テーマごとの得手不得手は、カバーしあっています。指導の先生は素晴らしい方ばかりで、寄せ植えやリース作り、花壇づくり、畑やプランターでの野菜づくり、課外学習などを通じて園芸のスキルが身につけてきました。2年生となり、今は5チームに分かれて、わいわいがやがや課題学習に真剣に取り組んでいます。



揃いのエプロンで大学祭



ほんわか親睦会



必死の竹垣づくり



秋冬野菜の植え付け

園芸学科らしく、お揃いエプロンを作成しました。ニュースポーツ大会や大学祭などに活用しており、仲間意識が一層深まっています。レイカディア大学に入学して一番の宝は、新しくできた友達や仲間です。卒業まで残り1年弱、大学祭や課題学習をやりとげ、絆を深め、地域の人財となるように頑張りたいと思います。

46期園芸学科A 学科長 上野 誠一

クラブ紹介

絵手紙クラブ

絵手紙とは、はがきに絵と短い言葉を添え、心を入れて送る「絵のある手紙」です。季節の草花や野菜、風景などをモチーフに、その場で感じたことや相手への思いを短い言葉に託して表現します。下書きをせず一発勝負で勢いや集中力を大切に描くため、教室にはいつも凜とした心地よい静けさが漂っています。主に本画仙紙のはがきなどに毛筆で線描きをし、顔彩という伝統的な絵の具で色をつけます。技術的な上手さよりも、気持ちを素直に表現すること、そして受け取った人が温かい気持ちになることを大切にしています。

出来上がった作品は黒板に掲示し、皆で鑑賞



活動風景



私たち絵手紙クラブは、現在46期生6名、47期生5名のこぢんまりとしたクラブです。練習は、全員が登校する基礎講座日に合わせ、月に2回実施しています。そのうちの1回は、講師の平田登美子先生から直接描き上げた作品の指導を受け、またお互いの作品を鑑賞し合いながら、和気あいあいと楽しく活動しています。クラブのモットーは「ハタでいい」「ハタがいい」。この合言葉を胸に、これからもみんなと色々な作品づくりを楽しんでいきたいと思っています。

絵手紙クラブ部長 松田 博子(46期園芸学科A)



サポートの会

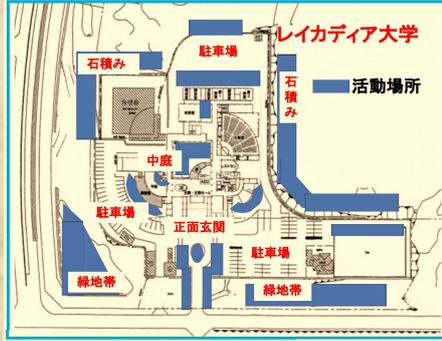
園芸クラブ 活動紹介

「園芸クラブ」は、草津キャンパス構内とその周辺の美化を担っています(右図の青色部分が活動場所)。園芸学科講師の平塚先生に顧問として指導をお願いし、32期から45期までの卒業生101名(うち女性25名)で、樹木の枝切、低木の剪定、下草刈り、落ち葉除去等の活動を行っています。毎月第1月曜日の9時半～11時半、年10回活動しています(1月・8月は休み)。

草木に囲まれながら、さわやかな空気の中、清々しい汗をかき、仲間と談笑しつつの作業は心身ともにリフレッシュされます。また、作業終了後、美しくなった構内を見渡す時、ささやかな達成感、満足感が得られます。

夏場、熱中症警戒アラートが出る日もありますが、そんな時は、作業場所を絞り、時間短縮し、健康、安全に十分留意しております。昨今は、女性の方も多く参加して頂いております。在学生の皆さんも、卒業後は、月1回一緒にいい汗をかきませんか。

園芸クラブ部会 部会長 酒井 辰雄



11月活動前の集合写真



さあ準備



キョウチクトウ剪定



高所での枝切り



切り枝を集積場へ



事務局差入れ



下草刈り・落ち葉集め



皆さんのおかげで大学はいつもきれいです。インタビューに、「同級生や仲間に出会えるのが楽しみ」、「学校がきれいになるのが嬉しい」などと話されていました。取材をした11月は快適な陽気でしたが、夏や冬はつらい時期も多いでしょう。健康に気を付けて活動してくださいね。

(取材:竹脇、村松)

学科部会

地域文化学科部会 活動紹介

サポートの会では第14期より学科部会が設立され、私達地域文化学科の卒業生も43期の卒業生を中心に44期を併せて43名が「学科部会」としてスタートしました。

縁あって同じ学科を卒業した先輩後輩が卒業後も縦の繋がりを大切に、未長く交流できることを目的に、校外学習等在学生のサポートはもちろん、在学生との交流を深めるべくイベントを企画しました。

第1回目は43期44期の卒業生の絆を深めるための企画として、2025年2月7日に「木瓜原遺跡見学と昼食会」を実施しました。31名が参加し一気にお互いの距離が縮まりました。

第2回目は、在学生と部会メンバーの交流を目的とし、6月3日に山本一博先生による講演会「歴史の常識大逆転！古文書デジタル化が暴く信長ら戦国武将の真実」と昼食会を開催しました。先生含め43～46期総勢59名が一堂に会して大いに盛り上がりました。

10月からサポートの会は第15期となり、第45期卒業生10名を加えて、総勢43名が在学生のサポートと縦の繋がりの充実をモットーに力を合わせて活動します。

地域文化学科部会長 小寺 忠幸

寄稿



<木瓜原遺跡(古代製鉄)の見学>



<山本先生の歴史講演会>





許可番号 わ輝滋美第(1815)-1.R7号

1981年の「びわこ国体」以来44年ぶりの滋賀県開催となる、第79回国民スポーツ大会(9月28日～10月8日)、第24回全国障害者スポーツ大会(10月25～27日)が行われ、大きな盛り上がりを見せました。その大会運営や選手の活躍を支えるボランティアに、わがレイ大生、250人以上のOBらが精力的に参加されました。活躍のほんの一部を紹介します。

「はじめてのボランティアが国スポ・障スポでした」

レイ大の中でもボランティアの話題が多くなり、自分も何かやらなければならないと思っている時に、募集を知って応募しました。プレイベントとして9万人が集まった市民パレードでは安全係を務めました。車いすバスケットのリハーサル大会と本大会では、受付を担当し、自由時間には生まれて初めて車いすバスケットの試合を観戦しました。レイ大の基礎講座で講師を務めた選手もおられ、激しいプレイや自力で立ち上がる姿を間近で見て、その大迫力に圧倒されるとともに、感動とパワーをもらいました。この経験で自信ができ、今は大津市生涯学習センターでボランティア(チャオ)をしています。(46期びわこ環境学科 船引伸夫さん談。聞き手:北川、坂本、中村)



「2回目の国体(国スポ・障スポ)です」

私は教師、教育委員会時代、滋賀県ソフトボール協会に関わってきました。44年前の「びわこ国体」には、競技役員として関わり、今回はソフトボール協会からボランティアとして参加。グラウンド整備などの高校生ボランティアの取り纏めをしました。中でも、視覚障害者のソフトボール競技(グランドソフトボール)は、決勝当日は雨で大変でしたが、無事に大会を終えることが出来ました。滋賀県チームは残念ながら初戦敗退でしたが、滋賀のボランティアはゲームを下支えして頑張ってくれ、大変嬉しかったです。(46期陶芸学科 磯部寛さん談。聞き手:坂本、丸山)



「おもてなし」

開会式、ローイング、車いすバスケットにボランティアで参加し、「おもてなし係」を担当しました。大会前に、エアライン会社の人から「おもてなし研修」を受けました。主な仕事は弁当や飲み物の提供です。単純とはいえ数がとても多く、初対面の人達とコミュニケーションをとりつつ進めるのは、かなりの緊張でした。選手の皆さんがこの日のために努力し鍛えてこられた勇姿はとても美しく、清々しかったです。私にとって色々な出会いや体験ができた感動的な機会になりました。(44期健康づくり学科卒 中山千恵美さん)



「視覚障害者卓球(STT)の審判をしました」

視覚障害者の卓球は台も球も特殊で、ネットの下をくぐらせた相手の球を返球します。球の転がりとラケットの打音を頼りに競技が進むため、審判にも高度の技能と公平性、専門の資格が要求され、重い責任があります。県に10人ほどしか資格者はいません。私たちは2年以上前から準備を始め、毎月の練習会で実践を重ねるなど、挫けそうになりながら資格を取りました。今はやってよかった、と胸を張って言えます。競技は真剣で、ゲーム性も高く、選手は素直で明るいです。是非、皆さんにもこの競技のことを知ってもらいたいですね。(45期園芸学科B卒 白杵照代・義夫さんご夫妻談。聞き手:丸山、村井)



12月19日、校章バッジの販売を行いました。学生の連帯とレイ大の知名度向上のために作られたものです。2014年以降、毎年この時期に広報情報部会が販売を担当しています。今回は105個販売できました。購入いただいた皆様、趣旨へのご理解・ご協力ありがとうございました。売上はサポートの会の活動資金に充てさせていただきます。なお、追加購入を希望される方は事務局にお問い合わせください。広報情報部会



校章
バッジ
販売!!



駐車場増設！ 計60台分



正面東

文化ゾーン側

レイ大(県立長寿社会福祉センター)に駐車場が2か所増設され、本年4月までに供用される運びとなりました。基礎講座の日や行事のある時などの駐車がずいぶん楽になりそうですのでご期待ください。なお、学舎奥の駐車スペースについても、1月末に改良工事が実施され、地面の凸凹が解消されました。

発行:滋賀県レイカディア大学 草津キャンパス サポートの会
編集:草津キャンパス サポートの会 広報情報部会
〒525-0072 滋賀県草津市笠山 7丁目 8-138
県立長寿社会福祉センター内
TEL: 077-567-3901 FAX: 077-567-3906
<https://lacakusatsu.com/1-supportai/index.html>



編集後記: 第60号に寄せて
「シニアの学び舎」も、本号で第60号の節目を迎えました。多くの方のご協力により今号も無事発行できました。編集委員一同、感謝を申し上げます。皆さまの日々の活動へのヒントになれば幸いです。今後もご愛読をお願いします。(K.N.)